

令和7年4月スタート!

文理探究科

「究める」ことで 見える世界が、ある。



探究的・発展的・先進的な
学習活動を行う
「文理探究科」が誕生!

山口県教育委員会
令和6年3月

6校の文系学科・
理系学科の総称

文理探究科

高校名	普通科	文系学科	理系学科
岩国	普通科	新 人文探究科	※理数探究科
徳山	普通科	新 文科	理数科
山口	普通科	新 文科	理数科
宇部	普通科	人文社会科学科	自然科学科
下関西	普通科	人文社会科学科	自然科学科
萩	普通科	人文社会科学科	自然科学科

※ 岩国高校の理数科は、理数探究科に名称変更

文理探究科の「学び」がすごい!

学びの形は1つじゃない!

学びの3大特長



文理探究科においては、「探究的な学習」「発展的な学習」「先進的な学習」を軸に学び、大学での高度な学習につながる高い学力を育成します。

岩国高校・徳山高校・山口高校では、新たな文系学科の設置により、文系分野の探究活動も一層充実します。

探究的な学習 ※

- 普通科より多くの探究的な学習時間を確保 ▶ 主体的・協働的に学ぶ時間が豊富!
- 毎年度、探究学習成果発表会を開催 ▶ 学校の枠を越えて成果を共有する場が実現!

【探究学習成果発表会のテーマ例】

《自然科学分野》

「あおられにくい傘の持ち方について」「バイオ燃料電池の実用化」「展開図の個数の研究」

《人文社会科学分野》

「色と記憶」「『源氏物語』が今も魅力を持っているのはなぜか」「文献調査による見島牛の価値の探究」



自然環境に関する講座



課題研究発表会



SDGsに関するセミナー



教科等を横断した学習



先端科学に触れるセミナー



大学教授からの直接指導

発展的な学習

- 高校1年から文系・理系分野の専門科目を設定 ▶ 入学後すぐ発展的な教科学習を開始!

【専門教科・科目の例】

理数数学、理数物理、総合英語、エッセイライティング、ディベート・ディスカッション等

先進的な学習

- 大学や専門機関等と連携 ▶ 高校の学習内容を深める先進的な内容を実施!

他にも

- ・ 文理両専門学科に所属する生徒が交流 ▶ 高いレベルでの文理の交流が実現!
- ・ 学科の所属人数が少人数 ▶ 機動力を生かして校外での多様な学習活動を実施!



ハワイでの現地高校生との交流



県外の大学の留学生と交流



島田川の水質を調査



VR等の先端科学に触れる研修



複数校合同合宿でのディベート

※ 探究的な学習とは、身近な経験の中で自ら見つけた課題の解決に向けて、知識・技能や思考力・判断力・表現力等を総合的に活用し、協働的に取り組む学習です。

課題の発見・設定 ▶

情報の収集 ▶

整理・分析 ▶

まとめ・表現 ▶

新たな課題の設定 ▶

...

社会が求める人材になる!

未来を切り拓く力が向上



- ◆ 「日本の労働人口の49%が将来、自動化される」との予測がある。
- ◆ デジタル化や脱炭素化により、将来は「問題発見力」「的確な予測」「革新性」が一層求められる。

【今後の人材育成とキャリア教育(2023 経済産業省)】

探究的な学習で **未来を切り拓く力** が身に付けられる!

- 問題を発見し自ら課題を設定する力
- 分析し確かな根拠付けをする力
- 多様な方法で情報を収集する力
- 課題の解決方法を生み出す力 など

大学入試に直結!

どう学んだかが問われる!

急激に変化する大学入試



今後社会で必要とされる力の変化に伴い、大学入試においても、「何を学んだか」から「どのように学んだか」を問う入試問題や選抜方法に変化しています。

◆ 一般選抜

探究的な学習で身に付く力が
生かせる入試問題が増加!

今後の大学入試においては、探究的に学んだり、協働的に課題に取り組んだりする過程を、問題に取り入れることが示されています。

【大学入学共通テスト問題作成方針(2023 大学入試センター)】

◆ 総合型選抜・学校推薦型選抜

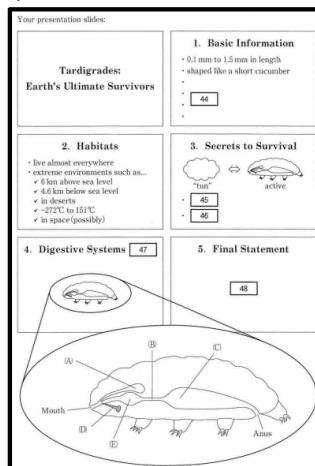
探究的な学習の成果を
生かせる選抜方法が拡大!

国立大学全体で、書類審査や面接等を組み合わせた入試による定員を30%とすることが目標とされました。

【2020年度以降の国立大学の入学者選抜制度(2017 国立大学協会)】

(公立大学・私立大学では、既に、これらの入試による入学者の割合が、それぞれ30%、50%を超えています。)

▼ 実際の出題例 (大学入学共通テスト2023)



英文から必要な情報を抜き出し、プレゼンテーションのスライドを完成させる力が求められる問題

▼ 総合型選抜・学校推薦型選抜の募集人員 (令和5年は国立大学全体の募集人員の約22%)



※ 総合型選抜(AO入試を含む)・学校推薦型選抜とは、志望理由書などの提出書類のほか、面接や論文、プレゼンテーションなどで、受験生が高校時代に学んだことや、能力・適性・意欲等を評価する入試方式です。

進学できる力も身に付く!

伸び続ける進学実績

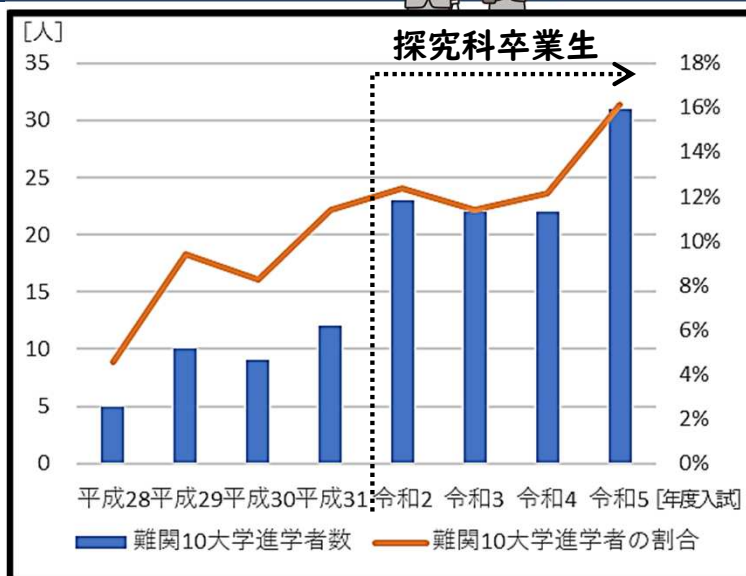


探究科での学びは
希望進路の実現
にもつながる!

探究的な学習により、大学入試への対応力も身に付くため、既に探究科を設置している学校においては、いわゆる難関10大学※をはじめとする、選抜性の高い大学への進学者数及び進学者の割合が上昇しています。

もちろん、多くの先輩が、これらの大学に限らず、自らの希望大学に進学しています。

※ 北海道大、東北大、東京大、名古屋大、京都大、大阪大、九州大、一橋大、東京工業大、神戸大を難関10大学としました。



▲ 宇部高校・下関西高校・萩高校の理数科・探究科卒業生における難関10大学進学者数の推移



学校生活について

Q1 文理探究科に所属したら、学校行事や部活動に参加することが難しくありませんか。

A1 学校行事や部活動への参加は、**普通科と変わりません**。既設の探究科では、部活動のキャプテンや生徒会役員を務めた生徒もいます。

また、文理探究科の生徒だけが参加できる活動も実施予定ですので、積極的に文理探究科を志願してください。

Q2 探究科では、探究的な学習に時間が割かれると聞きますが、大学入試に対応できますか。

A2 もちろん**大学入試にも対応できます**。文理探究科では、「探究的な学習」「発展的な学習」「先進的な学習」を授業時間内で行うため、**まさに、今後の大学入試において必要とされる力を伸ばせる**学科であると考えています。

Q3 各学校の特色は、それぞれどのようなところにありますか。

A3 各学校の特色は、各学校のホームページをご覧ください。



岩国高校



徳山高校



山口高校



宇部高校



下関西高校



萩高校

入学者選抜について

詳細は、令和6年7月
公表予定

Q4 文理探究科の入学定員はどうなりますか。

A4 入学定員は、文系学科と理系学科を合わせて**2学級規模**（萩高校は**1学級規模**）を予定しています。

Q5 文理探究科が2学級規模だと、募集人員が普通科より少ないため、第一次募集において第一志願とすることが不安なのですが…。

A5 第一志願を文理探究科、第二志願を普通科とすれば、**文理探究科に合格内定にならない場合も、普通科の選抜において、普通科を第一志願とする受検生と同等に選抜されます**。安心して、文理探究科を第一志願としてください。

Q6 文理探究科は、受検の際に、文系学科か理系学科を選択する必要がありますか。

A6 文理探究科は、学校ごとに募集方法が異なり、**学科別募集**と**くり募集**があります。学科別募集をする学校については、志願時に、文系学科を受検するか理系学科を受検するかを選択して受検する必要があります。

くり募集をする学校については、文系学科・理系学科をまとめて募集するため、受検時に選択する必要はなく、入学後に選択し、高校2年からどちらかの学科で学ぶこととなります。令和7年度は、**徳山高校が学科別募集、その他の学校がくり募集**となります。

Q7 文理探究科は、推薦入学を実施しますか。

A7 **特色ある推薦入学を実施**する予定です。



▲ 最新情報はこちら
(高校教育課ホームページ)